

# 関東学生卓球連盟の紹介

## 関東学生卓球新人選手権大会

「新人戦」の通称で知られる本大会は、毎年4～5月頃に行われている大会です。

以前より「世界選手権への登竜門」と言われてきた本大会ですが、近年は高校生のレベルアップが目覚ましく、「既に世界選手権を経験した選手が上位進出する」「世界選手権と時期がぶつかり、優勝候補の1年生が世界選手権出場のため出場できない」といった状況が生まれてきており、時代の流れを感じさせます。

平成2年度までは、1、2年生のみに出場資格が限定されていましたが、平成3年度より15年ぶりに3年生以上も出場可能となりました。現在の出場に関する規制は「過去に全日学に出場したことがない者」という一項目のみです。これにより出場人数もかつての400人前後から一気に増加し、近年は600人に迫る参加者を擁するビッグトーナメントとなりました。

本大会優勝者・優勝ペアは、全日学への上場権を得ますし、多くの本大会上位進出者が、これをステップに関東学生、全日学、さらには全日本から世界へと活躍の場を広げて行きました。また、海外遠征や強化合宿の対象・候補となることも多く、そういった意味では、まさしく「可能性の宝庫」です。その一方で、強豪の新人選手に立ち向かっていく上級生の姿も見られる、すがすがしい大会です。

新人戦出場数

	シングルス			ダブルス		
	男子単	女子単	単合計	男子複	女子複	複合計
S62	248	146	394	94	56	150
S63	262	130	392	104	52	156
H1	246	119	365	100	53	153
H2	228	116	344	91	50	141
H3	323	144	467	150	65	215
H4	375	168	543	166	77	243
H5	417	159	576	189	69	258
H6	445	153	598	191	69	260
H7	447	152	599	196	66	262
H8	419	132	551	187	58	245

## 関東学生卓球リーグ戦

通常「リーグ戦」と略称で呼ばれている本連盟のメインイベントです。

本連盟加盟のほとんど全チームが参加・出場している大会で、本連盟に登録しているほとんどの選手が関わっていると言えるでしょう。

従来は、1～6部まで、全ブロックが7点制（男子は6単1複、女子は5単2複）でしたが、下部校における部員不足（最低5～6人の部員確保が困難なチームの増大）や、土、日の2日間のみで5試合を消化する際の試合時間の問題（1試合3時間前後かかると1日3試合の消化が困難）などから、平成2年より女子3部以下が、平成3年より男子4部以下が、それぞれ5点制・4単1複形式となっています。男子・1～3部、女子・1～2部は従来通りの7点制で競技を行っていますが、これらの7点制のブロックは平成4年秋季より外国人留学生選手の単複重複出場を禁じています。

春季は5～6月頃、秋季は8～9月頃に行われることが通例となっており、1・2部は原則として代々木第2体育館を使用して同時開催しています。3部以下に関しては、幹事校制度により、原則として各大学の体育館などを会場とし、自主運営をしていただく形式を取っています。

近年は、特に女子チームの減少が続き（10年前から30%減）、従来は男女共、6部編成であったものが、

女子は平成3年・秋季より5部編成となっています。

1部リーグでは春秋の優勝校が異なった場合、平成2年度までは春秋王座決定戦が行われ、年間優勝校を決定していましたが、平成3年以降は中止され、春秋連続優勝でない限り、年間優勝校は存在しないこととなりました。これには、日学連の東西優勝校対抗戦が平成2年をもって中止されたことが大いに影響しています。

個人賞も多く設けられていますが、特に在学中の通算成績が評価される特別賞は長期に渡る活躍の証しでもあり、3部以下を含む登録選手全員が対象者であることとも併せて、特に意義深い賞です。

リーグ戦出場校数

		男 子			女 子		
		1・2部	3部～	合計	1・2部	3部～	合計
S62	春	12	76	88	12	67	79
	秋	12	77	89	12	66	78
S63	春	12	74	86	12	65	77
	秋	12	75	87	12	65	77
H1	春	12	73	85	12	59	71
	秋	12	73	85	12	55	67
H2	春	12	75	87	12	57	69
	秋	12	73	85	12	56	68
H3	春	12	76	88	12	55	67
	秋	12	73	85	12	48	60
H4	春	12	75	87	12	47	59
	秋	12	75	87	12	47	59
H5	春	12	76	88	12	43	55
	秋	12	70	82	12	42	54
H6	春	12	70	82	12	45	57
	秋	12	71	83	12	41	53
H7	春	12	75	87	12	45	57
	秋	12	70	82	12	41	53
H8	春	12	75	87	12	42	54
	秋	12	74	86	12	38	50

## 関東学生卓球選手権大会

本連盟に加盟している選手全員に出場資格のある個人戦の大会で、例年600～700名程度の出場者があるマンモス大会です。なお、登録選手が誰でも出場できる、という大会は、本連盟ではこの「関東学生」だけです。

男女・単複の4種目からなり、それぞれの本連盟のチャンピオンを決する重要な大会です。

毎年6～7月頃に行われていますが、ちょうど学校の試験シーズンと重なり易いこと、大会日数がどうしても3～4日かかり、休日のみで行なうことが困難なこと、などから出場をためらったり、申込後に止むなく棄権をしたりする選手が多数いることは残念です。こういった事情もあってか、近年では参加増の激しい新人戦や全日学予選に出場者数で抜かれる、という、以前では考えられないような事態も見られるようになってきました。本連盟の最高峰を決する大会という観点から見ても、その権威を高めるために必

要な改善を図っていくことになると思います。

この大会でランク（シングルスはベスト16、ダブルスはベスト8）入りした選手・ペアには、関東学連より全日学への出場権が与えられます。また、この大会の成績は全日学のシード作成の参考にもされることになっています。その他、当然ながら、新人戦同様に、本大会上位進出者は海外遠征や強化合宿の対象・候補となる可能性が高くなります。

なお、本大会のシングルスシード選手（男子64人、女子32人）はラウンドシード（スーパーシード）を与えられます。

関東学生出場数

	シングルス			ダブルス		
	男子単	女子単	単合計	男子複	女子複	複合計
S62	506	251	757	237	101	338
S63	472	238	710	212	100	312
H1	504	219	723	217	94	311
H2	483	205	688	218	90	308
H3	472	207	679	204	93	297
H4	503	217	720	225	102	327
H5	444	182	626	197	83	280
H6	391	192	583	179	92	271
H7	413	196	609	190	94	284
H8	418	197	615	195	92	287

会長杯争奪卓球大会

各大学のOB会の代表によって運営されている「関東学生OB卓球連盟」の主催大会ですが、本連盟も共催という形で運営に協力しています。

「会長杯」の名称で知られる本大会ですが、正式名称からもわかるとおり、これは選手権（チャンピオンシップ）ではありません。底辺拡大、普及を目的とした「卓球大会」で、毎年、10～11月頃に行われています。

出場資格を「その年の全日学に出場していない者」に限定し、これによって本連盟の登録選手は全員、全日学会会長杯かのおいずれかのお出場権を得ることができるようになっています。さらに、その年の秋季リーグの編成から、全体をAブロック（1～3部）とBブロック（4部以下）に分割し、4部以下の選手にも「1・2部の選手と当たらないのだから、他の試合よりも勝ち上がれる可能性が大きい」という希望を与えられるようになっています。

こういった工夫のためか、毎年500～600名程度の参加者があり、新人戦・関東学生などと並ぶ規模の大会となっています。

優勝者・優勝ペアにはAブロック・Bブロックの別を問わず、翌年の全日学への関東学連推せんが約束される、という特典もあり、出場者への励みになっています。

会長杯出場数

	シングルス									ダブルス								
	男子単			女子単			単合計			男子複			女子複			複合計		
	A ブロック	B ブロック	合計	A ブロック	B ブロック	合計	A ブロック	B ブロック	合計	A ブロック	B ブロック	合計	A ブロック	B ブロック	合計	A ブロック	B ブロック	合計
S62	161	316	477	20	162	182	181	478	659	69	126	195	8	57	65	77	183	260
S63	177	288	465	32	144	176	209	432	641	70	128	198	12	56	68	82	184	266
H1	144	268	412	47	107	154	191	375	566	61	110	171	22	47	69	83	157	240
H2	143	258	401	45	84	129	188	342	530	60	111	171	20	36	56	80	147	227
H3	124	318	442	66	91	157	190	409	599	53	134	187	28	34	62	81	168	249
H4	130	370	500	63	81	144	193	451	644	61	168	229	26	34	60	87	202	289
H5	173	286	459	71	66	137	244	352	596	81	126	207	28	27	55	109	153	262
H6	195	306	501	65	65	130	260	371	631	82	129	211	31	27	58	113	156	269
H7	219	317	536	90	51	141	309	368	677	99	144	243	38	18	56	137	162	299
H8	176	319	495	87	43	130	263	362	625	80	134	214	37	18	55	117	152	269

ニュートライアル卓球大会

通称「ニュートラ」として親しまれている大会です。

会長杯同様、底辺拡大、普及を目的とした卓球大会で、毎年、10～11月頃に行われていますが、その出場資格、種目及び試合形式は、他に例を見ない、ユニークなものです。

出場資格は「過去に全日学に出場したことがない者」であれば、学連に登録していなくても良い、となっています。日学連加盟資格を持つ大学・短期大学・専門学校・大学校に在籍している限り、「学生証さえあれば良い」ということです。また、ここから「学生であれば関東以外の学校に在籍していても良い」となっており、実際に他学連の選手が出場した実績もあります。

種目は、男子団体・女子団体・混合団体・ミックスダブルスの4種目ですが、この内の後の2つ（混合団体とミックスダブルス）が特徴的です。

試合方式も、原則として予選リーグ・決勝トーナメント方式を採用しており、「1試合やって、負けたら終わり」という状況を極力防ぐように配慮されています。また、予選リーグの形も、他では見ることのできない変則型です。

その他、団体戦のチーム名を自由につけて良いことや上位入賞者には、何らかの賞品が与えられることもこの大会の特徴です。

ニュートライアル出場数

	団体				混合複
	男子団	女子団	混合団	団合計	
S62	44	15	13	72	
S63	43	17	6	66	56
H1	42	12	6	60	39
H2	32	11	11	54	32
H3	50	19	21	90	53
H4	52	10	21	83	37
H5	49	9	14	72	45
H6	64	11	17	92	33
H7	49	7	13	69	37
H8	48	7	15	70	33

日学連主催大会の関東地区予選

全日本大学対抗卓球大会（インカレ）予選と、全日本学生選手権大会（全日学）予選がこれにあたります。

いずれも、日学連からの無条件出場資格や、本連盟の推薦資格を受けられなかった者（チーム、ペア）によって、毎年変動する残りの予選通過枠をかけて争われます。インカレ予選は6月中旬頃、全日学予選は8月中旬頃に、主に行われています。

全国大会への切符をかけて、毎年、熱い闘いが繰り広げられています。

インカレ予選出場校数

	男子	女子	合計
S62	29	22	51
S63	25	16	41
H1	23	17	40
H2	25	9	34
H3	24	10	34
H4	23	12	35
H5	26	11	37
H6	24	13	37
H7	29	13	42
H8	30	10	40

全日学予選（H2までは東日本学生予選）出場数

	シングルス			ダブルス		
	男子単	女子単	単合計	男子複	女子複	複合計
S62	380	160	540	166	75	241
S63	385	177	562	177	76	253
H1	404	161	565	182	71	253
H2	351	181	532	147	84	231
H3	378	163	541	159	78	237
H4	408	166	574	182	79	261
H5	346	172	518	159	80	239
H6	402	194	596	185	91	276
H7	412	172	584	197	85	282
H8	443	177	620	206	82	288

その他

・実学対抗

「実業団・関東学連対抗戦」の意です。

毎年、3月頃に実業団の協力を得て実施している対抗試合です。

会場は、主に実業団チームの体育館を借用し、「その年に入学・就職が内定している選手は、登録前でも新チームのメンバーとして出場しても良い」という特別ルールに基づいて行われています。よって、新人の新チームでのユニフォーム姿がどこよりも先に見られる大会です。

非公式試合のため、大会の詳細な内容は毎年若干変わりますが、「学生・実業団双方の代表数チームが総当たり（但し、学生同士・実業団同士は対戦しない）のリーグ戦を団体で行う」という大原則は変わりません。また、自主的な練習や、選手、指導者を含めた交流も活発に行われています。

・強化練習会

年数回、不定期に行われている行事です。

主に1～2部のチームから数名の選手が出場し、練習や試合を行っています。

内容はその都度、変更があります。

・国際交流事業

年数回程度、不定期に行われている行事です。

関東学連として、数年に1回程度、海外遠征を実施しているほか、日本に来日した外国選手との練習会や、日卓協などから依頼された国際大会の主管などを、機会があればできる限り実施しています。

登録について

本連盟に登録した選手は全て、上部団体である日本学生卓球連盟（日学連）を通して、(財)日本卓球協会（日卓協）に登録されることになっています。

加盟資格は日学連の規定により若干変動することありますが、原則的に、大学・短期大学・専門学校・大学の学生となっています。平成5年度からは登録年齢制限の規定が制定され、その年の4月1日現在で28歳未満の者しか、その年の登録はできなくなりました。この規定は、ユニバーシアードの規定を参考にして制定されたものであり、その選手の国籍を問わず適用されるものです。

外国籍選手に関する取り扱い、この10年間で最ももめた懸案の1つでありました。日学連においても何度も規定の改正を行って今日に至っており、関東学連もそれに合わせて必要な改善策を講じてきています。現在は、国際化・オープン化の時流を考慮し、「少なくとも登録に関しては、日本人と外国人の区別をしない」という考え方が、日学連・関東学連に共通するスタンスとなっています。

登録人数は、近年は1,700～1,800名程度に落ちついています。15年程前の3,300人弱をピークに減少傾向に転じ、現在では当時の半数強にまで落ち込んだところで安定している、といった状況です。

関東学連・登録人数一覧表

	総登録人数	新人登録人数	一般登録人数
S46	2,697	916	1,781
S47	2,760	1,016	1,744
S48	2,806	1,028	1,778
S49	2,390	762	1,628
S50	2,569	985	1,584
S51	2,624	990	1,634
S52	2,701	1,041	1,660
S53	2,646	926	1,720
S54	2,989	1,096	1,893
S55	3,124	1,257	1,867
S56	3,294	1,170	2,124
S57	2,990	1,010	1,980
S58	2,695	787	1,908
S59	2,649	920	1,729
S60	1,996	423	1,573
S61	2,071	543	1,528
S62	1,937	547	1,390
S63	1,744	435	1,309
H1	1,823	531	1,292
H2	1,804	594	1,210
H3	1,788	614	1,174
H4	1,794	606	1,188
H5	1,781	572	1,209
H6	1,748	583	1,165
H7	1,724	561	1,163
H8	1,697	546	1,151

